

令和2年度 学校評価

向陵高等学校

学校教育目標	1 自発的学習態度を育成する 2 健全な心身の発達を目指す 3 知性を高め敬愛の精神を高める 4 創造力を養い個性の伸長に努める 5 誠意をもって責任を果たす態度を養う
	校長の教育方針 1 基本的な生活習慣を身につけた生徒を育てる 2 自己の学力の向上に努める生徒を育てる 3 教科の勉強以外に打ち込めるものを見つけ、取り組む生徒を育てる 4 「思いやりの心」と「感謝の気持ち」を持つ生徒を育てる 5 本校独自の「チャレンジ講座」や「人間学」を通して未知なるものへの興味を広げ、豊かな感性を育む生徒を育てる
現状と課題	1 素直で人懐こいが、集団生活に悩む生徒がいる。 2 挨拶や返事が苦手な生徒がやや多い。 3 細部まで気を配り、行き届いた清掃ができる生徒がまだまだ少ない。 4 身だしなみや清潔感に気を配る意識が不十分な生徒がいる。
重点目標	1 基本的な生活習慣を身につける 2 掃除の徹底 3 元気な挨拶 4 コミュニケーション能力の向上

自己評価実施日	令和3年2月5日
学校関係者評価実施日	令和3年2月5日

学校関係者評価委員会の構成
PTA役員

達成度	A	ほぼ達成	80%以上
	B	概ね達成	60%以上
	C	やや不十分	40%以上
	D	不十分	40%未満

自己評価		学校関係者評価		総括		
番号	評価項目	具体的方策	目標の達成状況	達成度	学校関係者からの意見・要望・評価等	次年度への課題と改善策
1	遅刻をしない	時間を守ることの大切さを説き、個々の状況に応じて根気強く指導する。教員間、家庭とで連絡を取り合い、状況報告・相談を行い生活リズムの改善を行う。安心して学校に来られるように全教員で声掛けをする。授業前にはしっかり準備して待つ体制をとれるようHR等で指導する。必要に応じて見回りをする。	特定の生徒の遅刻はあるが、全体として遅刻はかなり少なく、遅刻をしない意識を持って行動出来ていた。生活に慣れるにつれて、移動教室の際の遅れや授業準備の不十分さが目につくことがあった。	A	「先生方が一人一人に声かけをする体制がとられていると感じた」「個々の状況に応じた指導がなされている」「交通状況を考えて一本早いバスに乗り、遅刻しないよう心がけていた」「時間を意識して学校生活を送っていると思う」「時間を守ることの大切さを家庭でも繰り返したいと思う」	時間遵守を呼びかけ生徒同士でも注意する。遅刻をする生徒に関しては家庭との連携を深め対処法を面談等で話し合う。遅刻ゼロ週間等を設け、より意識を高める工夫をする。授業準備の指導を強化し休み時間の巡回や声かけ等を必要に応じて行う。
	さわやかな身だしなみ	服装指導を、朝、帰りのHR、授業前に行う。生徒会とも連携を図り、生徒同士が服装についても注意し合えるようにする。指摘されなくても自分自身で見た目や清潔感にまで気が配れるように意識させる。保護者とも連携し、教員・保護者が共通理解、共通指導できるよう目指す。	制服をきちんと着用している生徒がほとんどで、着崩している生徒は見られなかった。ただ制服やワイシャツが汚れていたり寝ぐせがついたままだったりして、清潔感に欠ける生徒がいた。またネクタイやリボンを忘れてたり、清掃時にジャージを忘れた生徒が見られた。	A	「毎朝生徒を見かけると特に服装が乱れているように感じない」「身だしなみはきちんとしている」「生徒同士が話し合える良い関係が保たれている」「親や先生が言うて出来るが自主的に出来ない面もある」「高校生らしい髪型など気をつけなければという気持ちで身支度しているようだ」	継続して声かけを行い清潔感に注意を向けさせる。指導が必要な生徒には本人や保護者と話し合い理解を得ながら改善していく。着こなしセミナーを今後も継続して実施する。進路指導や保健指導、家庭科の授業なども活用して理解を深めていく。
	安心・安全な学校生活	全教員・スクールカウンセラーが生徒に関する情報を共有し、何かあれば会議等を聞き早期に対処する。普段から生徒に声かけや面談を行い様子を観察する。家庭との連絡も密にし連携していく。定期的にいじめアンケートをとる。観察シートを記入する。生徒が相談しやすい環境づくりをする。必要に応じてチームティーチング等を行う。	声かけ・面談等を行いながら、全教員で生徒の様子を観察し注意を払った。生徒が問題を抱えた時にはその都度面談を行いスクールカウンセラーと連携し相談したりするなど、保護者と連絡を取り合いながら素早い対応を心がけた。チームティーチングも活用し安心な学校生活が送れるよう努めた。	B	「安心して楽しんで通っているようだ」「きめ細やかに一人一人みてくれている」「専門のスクールカウンセラーがいるのは親として心強い環境だ」「思春期特有の悩みを持つ生徒が多いのでその時々生徒の状況に合わせた指導助言をお願いします」「いじめの話は聞かないがもしそのような事があればすぐ対応してほしい」	引き続き全教員・スクールカウンセラー間で情報を共有し情報交換を密にする。個々の生徒の特性・事情に応じて本人や家庭とのコミュニケーションをとりながら根気強い指導を継続していく。危機管理意識を高め、より安心安全な学校となるよう心がけ対策を立てる。
2	きれいな校舎	掃除の時間は必ず教員がついて指導し、細部にまでこだわる目を養い、使用する人の気持ちを考え、丁寧に掃除することを習慣化していく。自分の役割以外のことも手伝う気持ちを養う。クリーンアップ作戦で地域への奉仕心をより一層深めていく。施設設備の使い方にも気をつける。	毎日の清掃や大掃除、学校周辺の環境美化作業など、責任を持って取りかかる生徒が多く、また協力し合いながら全体的によく働いていた。気づいて細部まで丁寧にできる生徒はそれほど多くはない。時間を意識して活動できるとなお良い。	A	「いつ行ってもきれいにしている」「清掃活動がきちんとされている」「生徒たちは楽しそうに掃除をしているように見え微笑ましい」「地域奉仕を通りがかりに見かけると頑張っている。とても良い」「校外もきれいである。毎朝通路・駐車場を雪かきしている部活動の生徒、先生にお疲れ様と言いたい」	教員がつき掃除の仕方を教え必要箇所を指摘し点検する。開始・終了時間を意識し時間内に終わらせる。毎日の清掃を大事にし大掃除の時に必要以上に時間をかけないようにする。クリーンアップ作戦を確実に行うことで地域への奉仕意識を高める。
3	元気な挨拶	自信を持ち笑顔で元気な挨拶、心を込めた挨拶ができるように声掛けをしたり共に活動する。HRや授業、集会、職員室の出入り等、様々な場面で姿勢・態度も含めて挨拶を徹底していく。生活向上委員会・PTAの挨拶運動を有効活用する。行事を通して生徒同士はもちろん、外部の方々とも積極的に交流する。	部活動の生徒を中心に元気に挨拶する様子が見られ全体的に良くなってきている。ただ、声を出すのが苦手で廊下での挨拶が積極的に出来ない生徒や授業やHRで大きな声の生徒に紛れて小さい声しか出さない生徒も見受けられた。	B	「学校に行くと多くの生徒が挨拶してくれる」「生徒の方から挨拶されるので気持ち良い」「学校生活に慣れてきて友達関係も良好になり声が出せるようになってきた」「個人差もあるが元気に挨拶が出来ない生徒も見受けられた」「相手に好印象を与え社会にスムーズにとけ込めるよう身につけることの大切さを理解してほしい」	教員が手本となるように、積極的に挨拶・声かけをする。挨拶とともに会釈などの礼儀作法も身につけさせる。職員室の出入りの指導も継続していく。TPOに応じた指導、進路指導の面からの指導もしていく。お客様が来校した時はさらに積極的に挨拶する。